

第5回標準徒手医学会学術大会

第11回日本スポーツリハビリテーション学会学術大会

合同学術大会のご案内

1. 日時 令和4年3月13日(日) 10:00~16:30頃予定 9:30~受付開始
2. 会場: ZOOMを用いたオンライン開催
3. 内容

【午前の部】特別講演2 演題

- ・10時00分~10時10分 開会式
- ・10時10分~11時10分 特別講演①

座長①:

「東京2020オリンピックパラリンピックボート競技医事部活動報告」

演者: 遠藤 浩士 (伊奈病院 リハビリテーション技術科)

座長: 岸本 俊樹(伊奈病院)

- ・11時20分~12時20分 特別講演②

「下肢のスポーツ傷害と予防について」

演者: 瀬戸 宏明 (法政大学 スポーツ健康学部 スポーツ健康学科 准教授)

座長: 石橋 俊郎(上尾二ツ宮クリニック)

- ・12時20分~12時30分 質疑応答
- ・12時30分~13時30分 昼休憩

【午後の部】※現時点で発表が決定している演題を掲載

一般演題発表① 13時30分~15時10分頃

座長① 若井 晃 (Wellness Casa 時のかけはし)

① 『運動器疾患の疼痛原因部位の調査』

標準徒手医学研究所 岡野 智

② 『左頸部痛および頭痛症状を有する脳梗塞後遺症症例に対する治療介入』

老人保健施設 ゆうゆうの里 上前 拓巳

③ 『脊柱管狭窄症による神経症状の改善と運動療法を併用した症例』

笹本整形外科 手塚 尚樹

④ 『頸椎症性神経根症に対する徒手療法と考察』

まるやま整形外科リハビリクリニック 井上 由里

⑤ 『肩関節挙上制限を呈した鎖骨骨折術後の症例に対する徒手的功能診断と治療』

身延山病院 望月 一史

⑥ 『左母指打撲の経過報告 -自己による徒手療法の試み-』

東都大学幕張ヒューマンケア学部 教授 秋山 純和

座長② 関口 賢人(健康科学大学 講師) 15時20分～17時00分頃を予定

⑦ 『COVID-19 に対する法政大学スポーツ健康学部学生の感染対策意識調査－体育会学生と一般学生との比較－』

法政大学 スポーツ健康学部 倉本 周平

⑧ 『骨盤傾斜角と下肢回旋連鎖の検証』

法政大学スポーツ健康学部 教授 安藤 正志

⑨ 『陸上競技部選手のメディカルチェックにおける股関節屈曲機能評価』

あつい整形外科・リウマチ科 山崎 晃治

⑩ 『大臀筋ストレッチについて(仮)』

標準徒手医学研究所 富田 昌延

⑪ 『三角筋の各繊維ごとのストレッチ方向についての考察(仮)』

村越外科 伊藤 匡史

⑫ 『MRI を用いた PNF 実施時の筋活動分析 -深部筋の撮像の試み -』

東都大学幕張ヒューマンケア学部 教授 秋山 純和

4. 参加費：1,000 円(学生の場合は無料)

5. 定員 50 名

6. 参加申し込み方法

下記の事務局宛に『第 5 回標準徒手医学会学術大会 参加申し込み』として、電子メールにて①～④の事項を記入の上、お申し込みください。

①イベント名 (学術大会)

②希望日程 (3 月 13 日)

③氏名

④連絡先 自宅 (郵便番号・住所) or 職場 (郵便番号・施設名・所属部署・住所)

申し込み先：moonshirokane69@yahoo.co.jp

締め切りは令和 4 年 3 月 8 日 (水) です。